福田よしお県欧レポート

編集・発行 福田よしお事務所 〒470-0155 愛知郡東郷町白鳥二丁目 4-7 TEL:0561-39-4407 FAX:0561-39-4408 e-mail:fukuta440@yahoo,co.jp ポームページ・Facebook にも活動のようすをアップしてあります。ぜひご覧ください。



令和6年2月定例愛知県議会(2/19~3/25)

80073

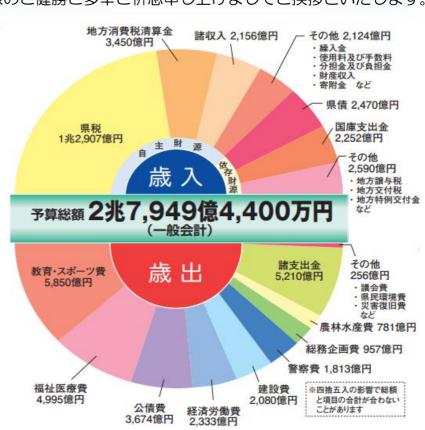
青葉の候 ▼ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は福田よしおの活動に格別のご理解とご指導を賜り、心から感謝申し上げます。さて、令和6年2月定例愛知県議会は一般会計2兆7949億余円、特別会計1兆3250億余円、企業会計2227億余円、合計4兆3427億余円が提案され、2026年に開催するアジア競技大会、アジアバラ競技大会関連事業費、本年10月にオープン予定のステーションAi関連経費、南海トラフ地震など大規模災害時の自衛隊、警察、消防など全国の応援部隊の活動拠点となる広域防災拠点事業の推進とゼロメートル地帯の防災拠点整備、中高一貫校指定校の整備費や特別支援学校の建設、小6の35人学級導入と教員の増員等教育関連事業費を計上するなど、コロナを克服して安全で安心な愛知県を成長させる予算編成と大規模商業施設と地元商工会、商店街が協力して地域貢献する「商業者等による地域貢献活動の推進に関する条例」の制定や条例の改廃など92議案が上程され、それぞれ所管の常任委員会に付託されました。早期議決を要する補正予算11件、工事請負契約等13件は3月12日一斉委員会を開催し採決の結果、全24議案可決しました。そして3月25日本会議で各常任委員会の委員長報告のあと討論を行い、採決の結果68議案を可決しました。また意見書案5件も可決しました。主要な事業を県政レポートにまとめましたので、ご一読いただきご指導ご鞭撻賜りますとともに、ジブリパーク全5エリアが開園し、全国や世界各国から多くの皆さんが来場され、周辺地域へも波及効果が及ぶように全力で取り組んで参ります。結びに皆様のご健勝ご多幸ご祈念申し上げましてご挨拶といたします。

令和6年度 県予算のポイント

県税収入は、好調な企業業績を反映した法人二税の増収を見込むが、 人件費や扶助費などの歳出増加に伴う収支不足が見込まれ、単年度の 歳入だけで歳出を賄うことが出来ず、多額の基金取崩しに依存する厳しい 財政状況が継続している。

歳 入 令和6年度の県税収入は、前年度から440億円増 の1兆2,907億円。法人二税では、好調な企業業績を 反映し399億円の増を見込むものの、海外景気の下振れ、物価 上昇、中東地域をめぐる情勢などに留意する必要がある。

歳出 人件費は、給与改定や定年年齢引上げの影響による退職手当の増加などにより大幅に増加。また、医療・介護・子育てなどの扶助費は、2025年にかけて団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となることに加え、子ども・子育て支援の強化などに伴い、大幅に増加している。



あいち民主県議団 各部会報告

住宅の耐震化を急ぐ

(建設部会)

能登半島地震では新耐震基準を満たした住宅にほぼ倒壊被害が出なかったという教訓も踏まえ、県では住宅・建築物の耐震、改修等への費用補助を継続。住宅の耐震診断では非木造住宅で補助率2/3(木造住宅は所有者負担なし)、耐震改修では100万円を上限に事業を行う市町村へ補助を実施し、県内に約27.3万戸存在する耐震性が不十分な住宅について2030年度までの解消を目指す。

3月19日運転免許更新予約制始まる

(警察部会)

愛知県警では予約制が始まるのに合わせて、県民にどのように広報宣伝しているのかとの委員からの問い掛けに際して、報道発表後はニュースや新聞でも取り上げられている。更に県警察ホームページを改修し予約制度の概要や具体的手続やQ&A等を掲載した。今後は、更新はがきでの案内のほか、円滑な導入に努めるとの明快な回答があった。

女性の活躍躍進/CN の実現に向けて

(県民環境部会)

中小企業における女性の採用に特化した取組ガイドの作成や女子大学生と女性活躍推進企業との交流会開催などの女性の活躍促進プロジェクト事業を実施する。環境分野では、あいち地球温暖化防止戦略2030(改定版)に基づき、あらゆる分野の脱炭素化を進める。また、資源投入量と廃棄物発生量を限りなく小さくするサーキュラーエコノミーへの転換を図る取組を推進する。

農林水産物の需要拡大とブランド力の強化

(農林水産部会)

県産農林水産物の需要拡大のためにも、ブランド力の強化を進め、農業分野の様々な課題に対応するための農業イノベーション 創出を推進し、スマート農業の導入で農業生産力の向上を図る。また、水産業では、漁場や養殖場等の基盤整備の推進で漁業生産 力の強化を図り、林業では、東三河地域の森林資源の新たな循環利用を促進するため、県産木材の利用促進に取り組む。

介護現場における生産性向上への取組推進

(福祉医療部会)

「団塊の世代」がすべて75歳以上となる2025年、介護サービスの更なる需要増が見込まれる中で介護人材不足は深刻化。人材確保を進める一方、介護現場における生産性向上を推進するため、介護事業者に対してワンストップ型の支援を行う「介護生産性向上総合センター(仮称)」を新たに設置し生産性向上を通じて、高まる需要へ対応できる体制づくりを推進する。

すべての県立高校の体育館に空調設備

(教育・スポーツ部会)

フレキシブルハイスクールや夜間中学校の設置、2025年度からスタートする中高一貫校の準備などを含め、あいちの多様な学びに向けての予算が提案された。教員の働き方改革、休み方改革プロジェクトの推進なども併せて提案された。また、子どもたちの教育環境の改善、酷暑対策として、4月から3ヶ年をかけて全県立高校の体育館に空調設備を整備することを決めた。

次世代産業を育成し、元気な愛知をめざして!

(経済労働部会)

STATION Ai プロジェクトに基づきスタートアップの新たなアイデアとモノづくりの優れた技術との融合によるイノベーションを誘発し、本県産業の成長を拡大させる愛知県独自のエコシステムの形成を推進する。また中小・小規模企業の企業力をアップするとともに「商業者等による地域貢献活動の推進に関する条例」を制定し大規模店舗と商店街などが協力して地域を元気にする。

2025年愛知万博20周年記念事業を実施

(総務企画部会)



愛知万博開催20周年を迎えるにあたり、愛知万博の理念と成果の再認識・継承を図り、愛知県の魅力を国内外に向けて発信することを目的として、20周年記念事業を実施。また、「魔女の谷」開園により、全5エリアが開園するジブリパークと連携して旅行者を迎え入れる雰囲気を醸成するとともに、県内の観光資源の魅力を広くアピールし、県内への宿泊や周遊観光の促進に取り組む。

1. 国内最大のインキュベーション『STATION Ai』





2024年10月完成予想図

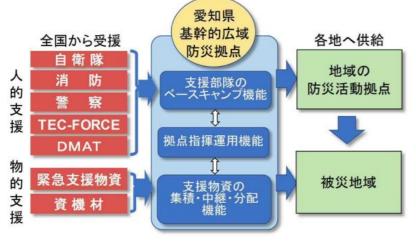
2024年10月に名古屋市鶴舞公園南側(愛知県勤労会館跡地)に開業予定の国内最大のインキュベーション(事業創出支援)施設。スタートアップの創出・育成やオープンイノベーションを促進するため、国内外のスタートアップ支援機関・大学との連携等を通じて、様々な支援サービスを提供する予定。また当施設内には、愛知県ゆかりの創業者・経営者の業績などを伝える施設『あいち創業館』が併設される予定。

2. 基幹的広域防災拠点の整備について

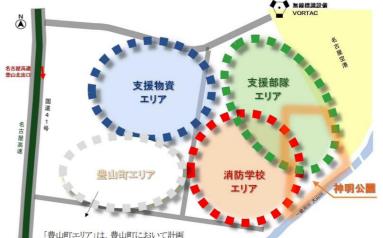
愛知県では2025年完了をめざし県営名古屋空港北西部に基幹的 広域防災拠点の整備を進めている。施設整備には民間のノウハウや 創意工夫を活用できる PFI 手法を導入した。

整備の主な目的は ① 南海トラフ地震等の大規模災害時に、全国から人員・物資を受け入れ、県内全域に供給し災害応急活動を展開するため。② 県内130箇所の防災活動拠点の後方支援にあたる拠点整備のため。③ 国の「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画」に対応するため。





※愛知県消防学校・名古屋市消防学校を防災拠点に移転する計画



拠点整備のエリア配置概要図

3. 愛知国際アリーナ「IG アリーナ」について

感動・興奮・共感をここ愛知から!2025年夏、名城公園に愛知のシンボルが誕生。ワールドクラスのエンターテイメント体験、イノベーションの力でつながる驚き、地域と共生して発展するスポーツ・文化の拠点、これらのコンセプトを軸に建設を進めている。





建設予定地 名城公園

建設中のアリーナ(2024年3月現在)

Sincer and	readan se de	
Va VVV	MAMAA	

2025年7月オープン 完成予想図

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
特定事業契約締結(5/31)	建設工事 着手(7月)		竣工(3月)	開業 開業 準備 (夏)	アジア・ アジアパラ 競技大会
設計		建設・開業準備		維持管理・運営 (30年)	
			ーーーー 備品調達・搬		

〈新体育館(愛知国際アリーナ)の概要〉 PFI事業者 株式会社愛知国際アリーナ 建築面積 約26,500 ㎡ 延床面積 約63,000 ㎡ 階層 地上5階 最高高さ 41.0m 最大収容人数 17,000 人(立見含む) 事業計画地 名城公園北園の一部(約46,000㎡)









2月定例愛知県議会 本会議 議案質疑

第2款 総務企画費 第6項 防災安全費 「防災政策・啓発事業費」について

<u>福田よしお質問要旨</u> 全国各地の災害状況を踏まえ、次期あいち地震対策アクションプランの策定にあ たってはどのように取り組んで行くのか。

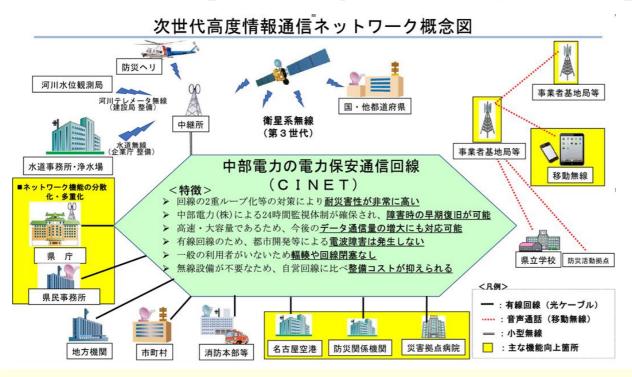
防災安全局長答弁要旨 本県では、2011年度から3年間かけて実施した「愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査」の結果に基づき、2014年度に「第3次あいち地震対策アクションプラン」を策定し、死者数を約8割減、建物の全壊・焼失棟数を約5割減とする目標を掲げ、地震防災対策に全庁を挙げて取り組んでいる。次期アクションプランの策定に際しては、風水害対策を盛り込んだ総合的な防災対策の行動計画としてリニューアルするため、現行のアクションプランの計画期間を1年間延長し、来年度、本格的な検討を行うこととした。現在、国においては「南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法」に基づき2013年度に策定された「南海トラフ地震防災対策推進基本計画」の見直し作業が進められている。この見直しでは、民間建築物の耐震化や地区防災計画の策定状況など、この10年間の対策の進捗状況の確認や新たに盛り込むべき対策等が検討されている。こうした国の動向を注視するとともに、今般の能登半島地震を踏まえた必要な対策についても検討していく。能登半島地震発生を受け、県民の地震防災への関心が高まっているものと推測され、大規模災害に対し被害の最小化を図る「減災」の考え方に基づき、自助・共助の取組を促し、この地域の防災力の向上に一層努めていく。

第2款 総務企画費 第6項 防災安全費 「次世代高度情報通信ネットワーク整備費」について

福田よしお質問要旨 今回計画される次世代高度情報通信ネットワークは、一般的な多重系無線設備でなく専用線、それも電話通信網でなく電力会社の保安通信回線を活用する理由と広域災害による電柱 倒壊や津波等で有線断絶や停電が発生した場合に、どのように通信を確保していくのか。

防災安全局長答弁要旨 次世代高度情報通信ネットワークの整備に当っては、南海トラフ地震などの大規模災害時においても、県、市町村、防災関係機関の間を確実につなぐネットワークであることが求められる。このため、映像送信など近年のデータ通信量の増大への対応や高層建築物による電波障害のおそれを解消するため、メイン回線を有線回線に転換することとした。今回採用する中部電カパワーグリッド株式会社の「電力保安通信回線CINET」は、県内全域において通信回線の複数ルート

化が図られていること、専用回線のため災害時にも輻輳せず安定した通信が維持されること、24時間 監視体制が確立されていることから高信頼度の通信回線として活用することした。また、有線回線の 途絶や停電が発生した場合でも、迂回による通信が確保でき、電力会社の回線として早期復旧が見込 まれる。なお、広域災害による途絶の場合に備え引き続き一般財団法人自治体衛星通信機構が管理・ 運営する「地域衛星通信ネットワーク」をバックアップ回線として利用し通信の確保に万全を期す。









4:

ジはこちらから見てね

2月愛知県議会意見書(令和6年3月25日可決)

○「誰もが安心して暮らせる社会」の実現についての意見書 ○国民皆歯科健診の実現についての意見書

○火葬場の整備等に対する支援についての意見書 〇子どもの自殺対策の強化についての意見書







3/16 魔女の谷 開園式



1/18 連合愛知尾張東地協自治体要望(東郷町)



1/18 連合愛知尾張東地協自治体要望(日進市)



1/7 日進市二十歳の集い



1/7 東郷町消防出初・観閲式



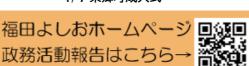
1/7 日進市消防出初式



3/4 技能五輪国際大会招致活動



1/7 東郷町成人式





ジブリの大倉庫

福田よしお Facebook 型級総具 日々の報告はこちら

